

## 第2回セグロウリミバエ対策検討会議の概要 (令和7年4月23日開催)

本検討会議において、セグロウリミバエの不妊虫技術開発の状況について沖縄県からの報告を踏まえ、不妊虫放飼の考え方について検討を行った結果、以下のとおり対応をすることが妥当とされた。

### 沖縄県における不妊虫放飼について

沖縄県から提案のあった不妊虫の利活用に関する方針案について、有識者から、放飼に当たって行う不妊虫の虫質に係る調査の内容は妥当であり、また、十分量の放射線を照射したセグロウリミバエについては十分に不妊化されており、野外に放飼することに問題はないと判断された。

また、実際の不妊虫の放飼に当たっては、事前に本虫の密度を十分に低減させるためにテックス板の設置等を実施するとともに、セグロウリミバエの分散能力や誘引剤への反応程度についてデータを収集すべきとされた。

以上